

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
	言葉に出会うために			
6月	<p>野原はうたう 1時間</p> <p>◎詩の中における語句の意味を的確に捉える。(読(1)ア)</p> <p>◎音声の働きや仕組みについて関心を持ち、理解を深める。(伝国(1)イ(ア))</p> <p>★詩を音読する。(読(2)ア)</p>	1	<p>P13の言葉を読み、目次や「この教科書で学習するみなさんへ」「学習の見通しをもとう」を使って、中学校での国語の学習の見通しをもつ。</p> <p>1 四つの詩の作者である生き物になったつもりで、情景や心情を想像しながら音読する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・詩に表現された語句の意味に注意する。 ・それぞれの詩の中で、気に入ったところに印を付いたり、線を引いたりしながら読む。 <p>2 速さ、声の強弱、間の取り方、声の高さや調子を変えて音読する。</p> <p>◇声の強弱や間の取り方などを変えることで、伝わる印象が異なることを気づかせる。</p> <p>3 学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・詩に表現された語句に気をつけて読むことができたか。 ・自分が気に入ったところを工夫して読むことができたか。 	<p>【関】作品の表現に応じて、音読のしかたを工夫しようとしている。</p> <p>【読】作品の特徴や語句の意味を捉え、自分なりの考えをまとめている。</p> <p>支 印を付いたり線を引いたりして、語句の意味や表現の特徴を見直させる。</p> <p>【言】それぞれの詩で、速度や強弱、音量や抑揚などを工夫している。</p>
	<p>声を届ける 書き留める 調べる 続けてみよう 4時間(話聞②書②)</p> <p>◎話す速度や音量、調子や間の取り方に気をつけながら、場に合わせて話す。(話聞(1)ウ)(伝国(1)イ(ア))</p> <p>◎日常生活の中からテーマを決めて材料を集め、自分の考えを明確にして書く。(書(1)ア・ウ)</p> <p>◎文章の中の語彙について関心をもつ。(伝国(1)イ(カ))</p> <p>★集めた情報を整理し、記録する。(書(2)イ)</p>	1 2 3-4	<p>1 自己紹介を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介文を書き、その紹介文を発表する。 <p>◇聞き手を意識させ、速度や音量、調子や間の取り方などに気をつけさせる。</p> <p>→CD</p> <p>2 ノートの書き方、工夫の仕方を理解する。</p> <p>◇小学校のときのノートの取り方と比較させる。</p> <p>3 学校図書館の活用方法や、辞書・インターネットなどの調べ方について確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・辞書の使い方、調べ学習の方法を確認する。 <p>4 学校図書館を活用し、辞書やインターネットなどを使って、身近なテーマについて調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語辞典・漢和辞典・百科事典・インターネットなどのうち、どの方法で調べるのが適しているか考える。 ・調べたことは、情報を整理してノートやメモに書き留める。 <p>5 学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の中からテーマを決め、材料を集めながら自分の考えをまとめることができたか。 	<p>【関】話す速度や音量などに気をつけて話そうとしている。</p> <p>【話聞】聞き手を意識して、話し方に気をつけながら話している。</p> <p>支 実際に教師が手本を見せて、生徒の参考にさせる。</p> <p>【書】集めた情報を整理して記録している。</p> <p>【言】語彙に関心を持ち、わからない語や注意したい語を調べている。</p>

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
1 学びをひらく				
6月	<p>花曇りの向こう 3時間</p> <p>◎場面の展開や登場人物の描写に着目して、内容を読み取る。(読(1)ウ)</p> <p>◎作品の展開に注意して、登場人物の気持ちの変化を捉え、題名に込められた意味を考える。(読(1)エ)</p> <p>◎作品の中における語句の意味を的確に捉え、内容を理解する。(読(1)ア)</p> <p>★場面や登場人物の描写に着目して物語を音読する。(読(2)ア)</p> <p>○文章に用いられている漢字を正しく読み、小学校で学習した漢字に書き慣れる。(伝国(1)ウ (ア) (イ))</p>	1	<p>「目標」や「学習の見通しをもとう」などから本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 作品を四つの場面に分け、それぞれの時・場所・登場人物を確認する。(学習1)</p> <p>2 「僕」の気持ちが変わる様子や行動、会話を押さえ、そこに表現された気持ちを考える。(学習2-1)</p> <p>3 冒頭と結末の場面を比べ、「僕」の気持ちの変化が表現されている風景や物を考える。(学習2-2) ◇表現に着目させ、変化を読み取らせる。</p> <p>4 「僕」の気持ちの変化を整理し、作品の題名に込められた意味を考える。(学習2-3) →p33[言葉]</p> <p>4 5 「僕」のものの見方や感じ方などで共感できるところがないか話し合う。(学習3)</p> <p>6 学習を振り返る。</p> <p>・作品の冒頭と結末で、「僕」はどのように変化したか。それはどのような描写で表現されているか。</p> <p>・題名の意味について、どのようなことを考えたか。</p> <p>[漢]p34「漢字を確認しよう」の問題に取り組む。</p>	<p>【関】 作品の展開や登場人物の描写に興味をもって読もうとしている。</p> <p>【読】 ・情景描写に着目し、登場人物の変化を捉えている。</p> <p>・気持ちの変化を整理し、題名に込められた意味を捉えている。</p> <p>支 場面ごとに登場人物の気持ちを捉えさせる。</p> <p>【言】 登場人物の心情や行動を表す言葉に着目して作品を読み進めている。</p> <p>【言】 問題に取り組み、漢字をおおむね正しく読み書きしている。</p>
	季節のしおり 春		<p>・二十四節気の言葉や春の情景を歌った唱歌の歌詞や詩などを味わい、伝統的な言語文化に親しむ。</p>	
	<p>わかりやすく説明しよう 観点を立てて書く 4時間</p> <p>◎身近な生活の中から、伝える目的や相手を明確にして情報を集める。(書(1)ア)</p> <p>◎説明する観点を決めて情報を整理し、わかりやすい構成を考えて書く。(書(1)イ)</p>	1	<p>「目標」や「学習の見通しをもとう」などから本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 伝える目的や相手を決め、「お気に入りの場所」を紹介する文章を書くことを確認する。 →p284[資]「発想を広げる」</p> <p>2 身近な場所、思い出の場所などから、説明する題材とその情報を集める。 →p286[資]「いろいろな発想方法」 ・「マッピングの例」を参考にして情報を集める。</p> <p>2 3 書く観点を決め、情報を整理する。 ・p38の例を参考に、集めた情報を観点別に整理し、必要な情報を選択する。 →p38[窓]「観点を立てて情報を集め、整理するには」</p> <p>3 4 わかりやすく伝えるための構成を考え、短い文や言葉でメモを書く。 ・p38「構成メモの例」を参考にし、構成の工夫を考える。</p> <p>4 5 構成メモを基に400字程度で書く。 ・p39「文章にまとめた例」を参考にする。 →p292[資]「文章の推敲・原稿用紙の使い方」</p> <p>5 6 書いた文章を読み合い、感想を伝え合う。 ・伝える目的や相手が変わった場合についても考える。</p> <p>7 学習を振り返る。</p> <p>・情報を集めるために、どのような工夫をしたか。</p> <p>・どのように情報を整理し、構成して文章を書いたか。</p>	<p>【関】 題材を適切に選択してまとめ、相手にわかりやすく伝える文章を書こうとしている。</p> <p>【書】 身近な生活の中から目的や相手に応じた情報を集め、観点を決めて整理してわかりやすい文章を書いている。</p> <p>支 伝えたい相手を、その他の人物と比較しながら必要な情報を絞り込ませる。</p> <p>【言】 「お気に入りの場所」のよさを表す言葉を用いて、読み手が具体的にイメージできるように書いている。</p>

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
6月	練習 情報を的確に聞き取る 1時間 ◎情報を的確に聞き取り、要点を押さえてメモを取る。(話聞(1)エ)(伝国(1)イ(1))	1	1 話を聞くとき、要点を押さえてメモを取ることの重要性を理解する。 2 教科書を閉じた状態で「先生からの連絡」を聞き、メモを取る。→CD 3 メモの取り方について話し合う。 ・「先生からの連絡」と自分のメモや教科書の例を比べ、気づいたことについて交流する。 ・「上達のポイント」で、メモを取るときポイントを確認する。 4 「放送委員長からの連絡」を聞き、自分が放送委員になったつもりで、必要な情報を聞き取る。 →CD ・「上達のポイント」を踏まえて、メモを取る。 5 メモの取り方や、その意義について確認する。	【関】 メモの重要性を理解し、積極的にメモを取る練習をしようとしている。 【話聞】 情報を的確に聞き取り、要点を押さえてメモをしている。 支 ・メモが、授業中だけでなく実生活でも有効な例を挙げる。 ・「上達のポイント」を参考にさせ、メモを取らせる。 【言】 話の文脈の中で、語句の意味を的確に捉えている。
	漢字 1 漢字の組み立てと部首 2時間 ◎漢字の組み立てと部首を理解する。(伝国(1)ウ(7)) ○小学校で学習した漢字について理解を深める。(伝国(1)ウ(1))	1-2	1 教科書のイラストを基に、漢字の組み立てを考える。 2 偏旁冠脚と部首の種類を理解する。 3 漢和辞典を利用して練習問題を解く。 ◇p257「漢字の練習」を活用し、小学校6年生で学習した漢字の理解を深めさせる。	【関】 漢字の組み立てに関心をもち、部首を基に既習の漢字を調べようとしている。 【言】 p42例の漢字を基に、漢字の組み立てと部首について理解し、既習の漢字を調べている。 支 わかりやすい漢字の一つを取り上げ、組み立てと部首について説明し、理解を図る。
2 新しい視点へ				
6月	ダイコンは大きな根? 3時間 ◎段落の役割に着目しながら、事実と意見を読み分け、文章の内容を捉える。(読(1)イ) ◎筆者の説明のしかたの工夫について考える。(読(1)エ) ◎身近なものについて説明された文章を読み、文章の中で使われている言葉の意味や内容を捉える。(読(1)ア) ★意味が伝わるように、説明文を正確に音読する。(読(2)ア)	1	「目標」や「学習の見通しをもとう」などから本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。 1 作品を通読し、初めて知ったことをノートにまとめる。(学習1) ・注意する語句・新出漢字を調べる。 2 各段落の中心となる内容を20字程度でまとめる。(学習2-1) →p48窓「段落の役割に着目して読む」 →p329窓「説明的な文章を読むために」	【関】 身近な「野菜」について書かれた文章に関心をもち、段落ごとの内容をまとめようとしている。 【読】 それぞれの段落の中心となる内容を要約している。 ・問題提起の段落や、根拠を述べている段落など、段落の役割の違いに気づき、筆者の工夫を理解している。 支 読み手に問題を投げかけている文を探させ、それに対する答えの文を見つけさせる。 【言】 段落の役割を考える際に、文と文、段落と段落を接続する語句に着目している。
休校中自宅学習含む		2	3 「問い」を投げかけている段落と、それに対する「答え」を示している段落を探す。また、それ以外の段落がどのような役割をもっているのか考える。(学習2-2)	
		3	4 筆者は、わかりやすく説明するためにどのような工夫をしているか、考えたことを話し合う。(学習3) 5 学習を振り返る。 ・文章全体の中で、それぞれの段落はどのような役割をもっていたか。 ・わかりやすい説明の工夫にはどのようなものがあるか。	

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
6 月 休 校 中 自 宅 学 習 含 む	<p>ちょっと立ち止まって 4時間</p> <p>◎文章と図の関連や段落と段落の関係に注意して文章の構成を捉える。(読(1)イ・エ)(伝国(1)イ(エ))</p> <p>◎筆者の考えを基に、自分のものの見方や考え方を広げる。(読(1)オ)</p> <p>◎文脈における語句の意味を的確に捉える。(読(1)ア)</p> <p>★文章と図との関連に注意しながら説明の文章を読む。(読(2)イ)</p> <p>○文章に用いられている漢字を正しく読み、小学校で学習した漢字に書き慣れる。(伝国(1)ウ(ア)(イ))</p>	1 2-3 4-5	<p>「目標」や「学習の見通しをもとう」などから本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 図との対応に注意しながら、全文を通読する。 ・筆者が図を基に挙げている事例について確認する。(学習1) ・注意する語句・新出漢字を調べる。</p> <p>2 本文を三つのまとまりに分け、それぞれのまとまりの内容を捉える。(学習2-1) →p53☒「文章の構成に着目して読む」</p> <p>3 本論を幾つかに分け、筆者の説明を理解する。また、三つのまとまりをそれぞれ要約する。(学習2-2)</p> <p>4 文章全体を通して、筆者の主張を捉える。</p> <p>5 日常生活の中で筆者の主張を生かせる場面がないか考える。(学習3) ・学級で考えを発表し合い、自分の考えを広げる。 ◇日常生活で、見方を変えることによって問題が解決したり、新たな発見ができたりした経験を発表させる。</p> <p>6 学習を振り返る。 ・本文の文章の構成はどのようになっているか。 ・筆者の考えのどんな点に興味をもったか。</p> <p>漢p54「漢字を確認しよう」の問題に取り組む。</p>	<p>【関】図を使って説明された文章に興味を持ち、文章と図を対応させて読もうとしている。</p> <p>【読】筆者の考えを基に、自分のものの見方や考え方を広げている。 ・文章と図の関連や段落の効果を捉えて、内容を理解している。</p> <p>支 筆者の主張に線を引かせ、内容を読み取らせやすくする。</p> <p>【言】指示する語句が表す部分を適切に読み取っている。</p> <p>【言】問題に取り組み、漢字をおおむね正しく読み書きしている。</p>
	<p>練習 記録のしかたを工夫する 1時間</p> <p>◎集めた情報を分類するなどして整理し、記録のしかたを工夫する。(書(1)イ)</p> <p>★図表などを用いた記録の文章を書く。(書(2)イ)</p>	1	<p>1 「記録の例」を見て、内容や書き方について、どのような工夫がされているか話し合う。</p> <p>2 「記録の例」、「上達のポイント」を参考にして、一つ前の授業を振り返り、休んだ人に学習内容を伝える目的で記録を書く。 →p128「調べたことを報告しよう」</p>	<p>【関】「記録の例」を見て、工夫されている点について考えようとしている。</p> <p>【書】見たり、聞いたりした内容を分類し、整理して記録している。</p> <p>【言】情報を整理する言葉などを用いて、読み手に伝わりやすい表現方法を取り入れている。</p>

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
6月	<p>「好きなもの」を紹介しよう スピーチをする 3時間</p> <p>◎話の構成や順序を工夫し、自分の伝えたいことを整理し、相手の反応を踏まえながら紹介する。(話聞(1)イ)</p> <p>◎声の大きさや話す速さなど、話し方を意識して聞き手にわかりやすい紹介をする。(話聞(1)ウ)(伝国(1)イ(ア))</p> <p>★日常生活の中の話題について、スピーチで紹介する。(話聞(2)ア)</p>	1 2-3 4	<p>「目標」や「学習の見通しをもとう」などから本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 p57『好きなもの』の例を参考に友達に紹介する話題を決める。 →p284[窓]「発想を広げる」</p> <p>2 話題を踏まえて、紹介する内容を決める。 ・「好きなもの」と出会ったきっかけ、好きになった理由や具体的な体験、友達に興味をもってもらえそうなことを考える。</p> <p>3 p57「将棋を話題にしたスピーチメモの例」を参考に、スピーチメモを作る。 ・内容を整理し、まとめた内容を考える。 ・聞き手がわかりやすいように、話の構成や順序を考える。 ◇1分以内に収まるように内容を整理させる。</p> <p>4 友達とスピーチの練習をする。 ・友達の助言を参考にし、内容を修正する。 →p58[窓]「わかりやすいスピーチをするには」 ◇話す速さ、声の大きさや発音、間の取り方や視線、表情、身振りを工夫しているか意識させる。</p> <p>5 スピーチの会を開く。→[CD] ・聞き手の反応を見ながら発表する。 ・聞き手は、話し手がいちばん伝えたいことを考えながら、発表を聞く。</p> <p>6 感想を伝え合う。</p> <p>7 学習を振り返る。</p> <p>わかりやすいスピーチをするために、どのようなところに気をつけたか。 ・内容や構成、順序を工夫したか。 ・話し方に注意して発表したか。</p>	<p>【関】p59「スピーチの例」を参考にして、1分以内で自分が伝えたいことをスピーチにしようとしている。</p> <p>【話聞】「スピーチの例」の構成を基に、自分の思いや考えを、聞き手に伝わるように話している。</p> <p>支 伝えたいことを一つに絞らせ、簡単な一文にまとめさせる。</p> <p>【言】相手が聞き取りやすいように話す速さや声の大きさなどを工夫している。</p>
	<p>情報の集め方を知ろう 情報コラム① 本から情報を集める 情報コラム② インターネットを利用する 情報コラム③ 新聞の紙面構成の特徴を知る 2時間</p> <p>◎本などから情報を集めるための方法を理解し、目的に応じて必要な情報の読み取り方を身につける。(読(1)カ)</p>	1 2	<p>「目標」や「学習の見通しをもとう」などから本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 導入の例を参考にし、どのような情報の集め方があるのか考える。 →p61「情報の集め方の例」</p> <p>2 「〇〇市の花火大会について」など、テーマを決めて、本から情報を集める。 ・記録カードの作り方を確認する。 →p288[窓]「資料の工夫」</p> <p>3 テーマについて、インターネットを利用して調べる。 ・検索のしかたや情報源の明記について確認する。 ・録音や撮影のしかたを確認する。</p> <p>4 新聞の紙面構成の特徴を理解する。 ・見出しやリード文などの効果について考える。 ◇新聞の一面記事を用意させる。</p> <p>5 学習を振り返る。 ・情報の集め方には、どのようなものがあったか。 ・新聞の紙面構成には、どんな特徴があったか。</p>	<p>【関】自分が設定したテーマについて、さまざまな方法を用いて調べようとしている。</p> <p>【読】本やインターネットを用いて情報を集めて読み取り、テーマに対して必要な情報を選択している。</p> <p>支 本の選び方やインターネットの検索方法を理解させる。 ・新聞に書かれている情報を整理し、記事の要旨を捉えている。</p> <p>【言】本やインターネット、新聞における事象や行為などを表す多様な語句について理解している。</p>

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
9月	<p>大人になれなかった弟たちに…</p> <p>4時間</p> <p>◎登場人物の行動や情景描写などに着目し、心情を読み取る。(読(1)ウ)</p> <p>◎表現の特徴や時代背景を押さえ、作者の思いを捉えながら、自分のものの見方や感じ方を見つめ直す。(読(1)オ)(伝国イ(イ))</p> <p>★登場人物の心情を想像しながら、物語を音読する。(読(2)ア)</p> <p>○文章に用いられている漢字を正しく読み、小学校で学習した漢字に書き慣れる。(伝国(1)ウ(ア)(イ))</p>	1 2-3 4	<p>「目標」や「学習の見通しをもとう」などから本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 作品を通読し、どのような時代の作品かを大きく捉える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・注意する語句・新出漢字を調べる。 ・当時の生活の様子がわかる描写に着目する。 <p>2 「母」が食べ物をあまり食べなかったり、「僕」が「ヒロユキ」のミルクを盗み飲みしてしまったりした理由を考える。(学習1)</p> <p>3 作品の描写を読み取り、登場人物の気持ちを考える。(学習2)</p> <p>→p115窓「人物の行動や情景描写から心情を読み取る」</p> <p>→p327窓「文学的な文章を読むために」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「僕はあんなに美しい顔を見たことはありません。」の僕の気持ち。 ・「石釜という山あいの村」の描写。 ・「そのとき、母は初めて泣きました。」の母の気持ち。 <p>4 作品に描かれた時代を考えながら、「大人になれなかった弟たちに……」という題名のもつ意味について話し合う。(学習3)</p> <p>5 学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人物の心情をどんなところに着目して読み取ったか。 ・人物の姿から、自分のものの見方や感じ方はどう変わったか。 <p>漢p116「漢字を確認しよう」の問題に取り組む。</p>	<p>【関】時代背景や人物の描写に関心をもって読もうとしている。</p> <p>【読】・情景や人物描写に着目して登場人物の心情を読み取っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表現の特徴や時代背景を押さえ、作者の思いを捉えながら、自分のものの見方を広げている。 <p>支 登場人物の様子が書かれている部分を探し、そのときの気持ちを想像させる。</p> <p>【言】繰り返し表現や「……」などの表現が、効果的に使われていることを理解している。</p> <p>【言】問題に取り組み、漢字をおおむね正しく読み書きしている。</p>
	<p>練習 わかりやすい案内文を書く</p> <p>1時間</p> <p>◎わかりやすく伝えるために、書いた文章の内容を整理し、案内文を工夫して書く。(書(1)エ)</p> <p>★行事などの案内文を書く。(書(2)ウ)</p>	1	<p>1 案内文の書き方について確認する。</p> <p>→p290窓「いろいろな通信文」</p> <p>2 教材の「案内文の下書き②」を、わかりやすく案内する方法を考えて、書き改める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「上達のポイント・書き方」を押さえ、p288窓「資料の工夫」、p293窓「敬語を使う」を参考にする。 <p>3 教材の「案内文の下書き」と同様の内容を、小学校6年生に出す場合で書く。</p> <p>◇小学校6年生が理解できるように、読み手のことを考え、表現方法に注意させる。</p>	<p>【関】事柄や目的に応じた項目を立てて、相手に伝わりやすい案内文を書こうとしている。</p> <p>【書】教材の「案内文の下書き」を基に、項目ごとに整理し、読み手を意識してわかりやすい案内文を書いている。</p> <p>【言】わかりやすい言葉や慣用表現を適切に用いている。</p> <p>支 既存の案内文を示し、項目を確認させる。</p>

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
9月	<p>シカの「落ち穂拾い」 ——フィールドノートの記録から 5時間</p> <p>◎示されている事実と、筆者の考えとの関係を読み取る。(読(1)イ)</p> <p>◎筆者の考えの述べ方や、図表の役割と効果を考える。(読(1)エ)</p> <p>★文章と図表との関連を考えながら、説明の文章を読む。(読(2)イ)</p> <p>○文章に用いられている漢字を正しく読み、小学校で学習した漢字に書き慣れる。(伝国(1)ウ (7) (イ))</p>	1 2-3 4-5	<p>「目標」や「学習の見通しをもとう」などから本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 グラフや表に注意しながら、全文を通読する。 ・注意する語句・新出漢字を調べる。</p> <p>2 筆者がどのような事実に興味をもって、調査を始めたのかを確認する。(学習1)</p> <p>3 筆者は観察で得たどのような事実をもとに、どのような仮説を立てたのかを理解する。(学習2-1) →p126^密「事実と意見の関係に注意して読む」 →p329^資「説明的な文章を読むために」</p> <p>4 筆者が上げた二つの仮説は、どのような事実によって検証されたか確認する。(学習2-2)</p> <p>5 仮説の検証を通じて、筆者はどのようなことを知り、どのような課題をもったのか確認する。(学習2-3)</p> <p>6 小見出しや図表の役割と効果について考える。(学習2-4)</p> <p>7 筆者の考察の導き出し方について、わかりやすく感じたところや気づいたことについて意見を述べ合う(学習3)</p> <p>8 学習を振り返る。 ・筆者はどのような手順で「考察」を導き出していたか。 ・文章の表現のしかたや図表の役割について、どのような考えをもったか。</p> <p>^漢p127「漢字を確認しよう」の問題に取り組む。</p>	<p>【関】動物の生態など内容に興味をもって読もうとしている。</p> <p>【読】図表に着目しながら文章を読み、論理の展開を理解している。 ・事実と意見を読み分け、文章の要旨を捉えている。 ・文章の構成や表現の特徴、小見出しの効果について理解し、自分の考えをまとめている。</p> <p>支 図表とそれに対応する文章を一つ一つ確かめながら読み取らせる。</p> <p>【言】箇条書きや小見出しに着目して読み、その効果について考えている</p> <p>【言】問題に取り組む、漢字をおおむね正しく読み書きしている。</p>

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
	5 いにしえの心に触れる			
10月	音読を楽しもう いろは歌 1時間 ◎仮名遣いに注意して音読し、古文の言葉の響きや調子に読み慣れる。(伝国(1)ア(7))	1	1 「いろは歌」を仮名遣いに注意して音読する。 ・古文の言葉の響きや調子に読み慣れる。 ・3段目の現代語訳と比べ読みをしてみる。 ◇小学校での古典学習を確認させるとよい。	【関】「いろは歌」を読み、言葉のリズムに親しもうとしている。 【読】「いろは歌」を音読し、現代語訳を参考に内容に親しんでいる。 支 範読して言葉の切れ目に注意させる。 【言】「いろは歌」の言葉の調子や間の取り方などを考えて音読している。
	月に思う 1時間 ◎月を題材にした随筆を読み、古典には、さまざまな種類の作品があることを知る。(伝国(1)ア(7)(4)) ◎文章に表れているものの方や考え方を捉える。(読(1)オ)	1	1 全文を通読し、古典が現代まで読み継がれてきたことを知る。 ・新出漢字を調べる。 2 月を題材にした百人一首の歌を探して音読し、古典特有のリズムを味わう。	【関】本文を読み、古典の世界に関心をもとうとしている。 【読】昔の人の季節の感じ方を捉えている。 支 現代の感覚と比べて、共通点や相違点に気づかせることで、古典の世界への関心を抱かせる。 【言】歴史的仮名遣いの言葉を正しく読み、現代語訳を参照して文語の意味を捉えている。
	蓬萊の玉の枝 —「竹取物語」から 4時間 ◎語句に注意しながら、現代の文章と古典の文章とで異なる部分を確認し、古典の文章の表現の特徴を知る。(読(1)ア・エ) ◎仮名遣いに注意し、古典のリズムを味わいながら音読し、古典の文章に読み慣れる。(伝国(1)ア(7)) ○「竹取物語」を通じて、古典の世界に触れる。(伝国(1)ア(4))	1 2 3-4	「目標」や「学習の見通しをもとう」などから本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。 1 全文を通読する。 ・新出漢字を調べる。 ・古典の文章をリズムを味わいながら繰り返し音読する。(学習1) ・冒頭部分(p147)を繰り返し音読する。 2 現代の文章と古典の文章とで異なる部分を確認しながら物語の展開を楽しむ。(学習2) ・現代語訳やp157「古典の言葉」を参考にして、仮名遣いや文末の違い、現代では使われなくなった言葉に着目して読み進める。 3 物語に登場する人々の思いや行動について、現代の自分たちの考えや行動と比較し、感じたことや考えたことを発表する。(学習3) ◇場面ごとに、登場する人々の思いや行動を整理するワークシートを準備する。 4 学習を振り返る。 ・古典の文章を読み、どんなところに興味や関心をもったか。 ・現代の文章と古典とを比べ、どんな違いに気がついたか。	【関】古典の文章を、興味・関心をもって繰り返し音読しようとしている。 【読】現代の文章とは異なる表現や表記に注意して物語の展開を捉えている。 【言】仮名遣いに注意し、古典特有のリズムを味わいながら音読している。 支 現代の言葉と異なる表現をする代表的な古語を示して、理解を図る。
11月	今に生きる言葉 2時間(読・伝国①書①) ◎故事成語の由来と意味を理解する。(読(1)ア) ◎「矛盾」の書き下し文を音読し、漢文独特の言い回しに読み慣れる。(読(1)エ)(伝国(1)ア(7)(4)) ◎自分の生活を振り返り、故事成語を使って体験文を書く。(書(1)ウ)	1 2	「目標」や「学習の見通しをもとう」などから本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。 1 教材文を読み、故事成語について理解する。 ・新出漢字を調べる。 2 「矛盾」の文章を読む。 ・書き下し文を繰り返し音読し、漢文独特の言い回しに慣れる。(学習1) ・現代語訳を読んで、「矛盾」という故事成語の由来と意味を理解する。(学習2-1) 3 「推敲」「蛇足」「四面楚歌」の言葉の意味や故事を調べる。(学習2-2) ・漢和辞典・故事成語事典などを活用する。 4 調べた故事成語を使って自分の体験について短い文章を書く。 5 学習を振り返る。 ・挙げられている故事成語は、日常生活ではどのように使われているか。 ・漢文独特の言い回しには、どんなものがあつたか。	【関】故事成語の意味や由来に関心を持ち、漢文の言い回しに読み慣れようとしている。 【読】現代語訳を参考にして、故事成語の由来と意味を理解している。 【書】調べた故事成語の中から、自分の体験に関連するものを選び、体験文を書いている。 【言】例示されている故事成語の由来と意味を理解している。 ・漢文独特の言い回しに注意して音読している。 支 例示されている故事成語の一つを取り上げ、辞典等を使った調べ方を示す。

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
	6 論点を捉えて			
11月	幻の魚は生きていた 4時間 (読④書①) ◎文章の中心的な部分を読み取り、要旨を捉える。(読(1)イ) ◎文章に表れている考え方を捉え、自分の見方や考え方を広げる。(読(1)オ) ◎筆者の主張に対する自分の考えを、具体的な根拠を挙げて書く。(書(1)ウ)	1 2 3 4 5	「目標」や「学習の見通しをもとう」などから本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。 1 教材文を読み、序論・本論・結論に分ける。(学習2) 2 序論の中心となる文に着目し、本論との関係について確認する。(学習2-1, 2) 3 結論として筆者の考えがどのように書かれているか読み取る。(学習2-3) 4 文章の要旨をまとめる。(学習2-4) 5 筆者の主張に対する自分の考えをノートに書く。 6 グループでノートを回覧し、コメントを添える。 7 学習を振り返る。 ・どのような手順で要旨を捉えたか。 ・筆者は文章を通して、どのような主張をしていたか。	【関】 文章の要旨を捉え、自分の考えを広げようとしている。 【読】 ・文章の要旨を捉えている。 ・学習を通じて自分の見方や考え方を広げている。 支 段落ごとに要約したり、小見出しを付けさせたりする。 【書】 具体的な根拠を挙げて、自分の考え(共感・納得、疑問・反論)を書いている。 【言】 環境や生物に関する言葉の意味を理解している。
	○文章に用いられている漢字を正しく読み、小学校で学習した漢字に書き慣れる。(伝国(1)ウ(ア)(イ))		漢p172「漢字を確認しよう」の問題に取り組む。	【言】 問題に取り組み、漢字をおおむね正しく読み書きしている。
	練習 流れを踏まえて話し合う 1時間 ◎話題や方向を捉えて話し合い、自分の考えをまとめる。(話聞(1)オ) ★日常生活から話題を探し話し合う。(話聞(2)イ)	1	1 教材文を読み、流れを踏まえた話し合いについて学ぶ。 2 「話し合いの例」を使って、班ごとにロールプレイングを行う。→ CD 3 空欄に当てはまる言葉にはどんなものがあるか検討する。	【関】 話し合いの話題や方向を捉えて、自分の考えをまとめようとしている。 【話聞】 話し合いの話題や方向を捉えて、適切な発言をしている。 支 空欄に入れるさまざまな発言例を用意し、一つ一つ検討させる。
	話題や方向を捉えて話し合うグループ・ディスカッションをする 4時間 ◎日常生活の中から話題を決め、交流を通じて話し合いの材料を集める。(話聞(1)ア) ◎話し合いの話題や方向を捉えて、相手の反応を踏まえて話したり自分の考えをまとめたります。(話聞(1)イ・オ) ★課題について、グループ・ディスカッションを行う。(話聞(2)イ)	1 2 3 4 5	「目標」や「学習の見通しをもとう」などから本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。 1 教材文を読み、話題や方向を捉えた話し合いについて学ぶ。 ・話し合いの話題を検討する。 2 話題に対する自分の考えをノートにまとめる。 3 話題ごとに小グループを作り、グループ・ディスカッションを行う。→ CD 4 話し合いの結果を報告し合う。 ・他グループの報告をメモする。 5 学習を振り返る。 ・話題や方向を捉えて話し合ったか。 ・話し合いを通して、考えを整理できたか。	【関】 話し合い積極的に参加し、発言したり、他者の発言に耳を傾けたりしている。 【話聞】 ・日常生活の中から話題を決め、交流を通じて話し合いの材料を集めている。 ・話し合いの話題や方向を捉え、相手の反応を踏まえて話したり、自分の考えをまとめたりしている。 支 ワークシート等を利用して、自分の考えをあらかじめまとめさせる。また、グループ・ディスカッション時、報告時にメモを取るよう促す。
12月	練習 感じたことを整理する 1時間 ◎感じたことや読み取ったことを、観点を立てて整理する。(書(1)イ・ウ) ★自分の選んだ芸術作品について鑑賞文を書く。(書(2)ア)	1	1 教材文を読み、示された絵から感じたことなどを付箋に書き出す。 2 書き出した付箋を観点別に整理する。 3 書き出した具体的な特徴が、鑑賞文を書く際に自分の考えの根拠となることを確認する。	【関】 絵の特徴や感じたことなどを複数の付箋に書き出している。 【書】 絵から感じたことや読み取ったことを観点別に整理できている。 支 書き出した付箋の中の具体的な物事を示す言葉に着目させ、観点到に気づかせる。

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
12月	<p>根拠を明確にして魅力を伝えよう</p> <p>鑑賞文を書く</p> <p>3時間</p> <p>◎作品を鑑賞し、その魅力を根拠を明確にして文章を書く。 (書(1)ウ・エ)(伝国(1)イ(ウ))</p> <p>○書いた文章を互いに読み合い、作品の捉え方や表現のしかたについて意見を述べる。 (書(1)オ)</p> <p>★自分の選んだ芸術作品について鑑賞文を書く。(書(2)ア)</p>	1 2 3 4	<p>「目標」や「学習の見通しをもとう」などから本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 自分の好きな作品を選び、その魅力を一文で表現する。 ・鑑賞文とは何か、p181下段の文章を読んで理解する。</p> <p>2 作品から感じることや読み取れる特徴を付箋に書き出し、観点別に整理する。</p> <p>3 観点ごとに自分が感じた魅力の根拠となる具体的な特徴をまとめる。</p> <p>4 鑑賞文を書く。 ・「鑑賞文の例」を参考にしながら、根拠を明確にして魅力を説明する文章を書く。</p> <p>5 書いた鑑賞文を読み合い、互いの見方や感じ方、表現のしかたの違いについて話し合う。 →他美術・鑑賞文</p> <p>6 学習を振り返る。 ・根拠を明確にして伝えるために、どのような工夫をしたか。 ・鑑賞文を読み合うときに、どのような点に注意したか。</p>	<p>【関】好きな作品を選び、その魅力を表現しようとしている。</p> <p>【書】根拠を明確にして、その魅力を伝える文章を書いている。</p> <p>支 観点ごとに具体的な根拠を挙げ、より説得力のあるものに絞らせる。</p> <p>【言】読み手に伝わるような鑑賞文にするために、印象や感動を表す言葉を探し、書いている。</p>
	<p>竹</p> <p>1時間</p> <p>◎表現の特徴について、自分の考えをもつ。(読(1)エ)</p> <p>★詩を音読する。(読(2)ア)</p>	1	<p>「目標」や「学習の見通しをもとう」などから本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 表現の特徴を捉え、リズムを楽しみながら繰り返し音読する。</p> <p>2 音読して抱いたイメージや表現の特徴などについて考える。</p> <p>3 学習を振り返る。 ・音読を通してどのような表現の特徴に気づいたか。</p>	<p>【関】作品の表現のしかたに関心をもち、進んで音読の練習に取り組もうとしている。</p> <p>【読】表現の特徴や効果について、自分なりの考えをまとめている。</p> <p>支 印象に残った表現を選んで、音読のしかたを工夫させる。</p> <p>【言】表現の特徴に着目しながら早さや間の取り方などを工夫して音読している。</p>
	<p>文法への扉2</p> <p>言葉の関係を考えよう</p> <p>2時間</p> <p>◎文節どうしの関係、連文節、文の組み立てについて理解する。(2年伝国(1)イ(ウ))</p>	1 2	<p>1 例文を音読し、正しく伝えるためには、文節どうしの関係(主・述の関係など)を捉えることが大切なことに気づく。</p> <p>2 p244文法2「文の組み立て」を読み、文節の役割を知り、文節どうしの関係、連文節、文の組み立てについて理解する。 ・下段の練習問題に取り組み、理解したことを確認する。 ・p248「書くことに生かす」を読み、文章の推敲に生かすことを知る。</p>	<p>【関】文の決まりに関心をもち、文節どうしの関係などについて理解しようとしている。</p> <p>【言】文節どうしの関係、連文節、文の組み立てについて整理した内容を理解している。</p> <p>支 文節どうしの関係の簡単な例題を準備し、繰り返し考えさせて理解させる。</p>
	読書に親しむ			
12月	<p>桜守三代</p> <p>読書案内</p> <p>1時間</p> <p>◎文章に表れている考え方を捉え、自分のものの見方や考え方を広くする。(読(1)オ)</p> <p>★課題に沿って、多様な本を読む。(読(2)ウ)</p>	1	<p>1 教材文を読み、気になったり興味をもったりした箇所に線を引く。</p> <p>2 佐野藤右衛門(16代目)の生き方やものの見方・考え方について自分の考えをノートにまとめる。</p>	<p>【関】人物の生き方に興味をもち、他の伝記作品への関心をもっている。</p> <p>【読】描かれている人物の生き方や考え方を捉えている。</p> <p>支 各代の佐野藤右衛門のエピソードをまとめさせる。</p> <p>【言】語句の文脈上の意味を捉えている。</p>
	季節のおしり 冬	1	<p>・二十四節気の言葉や、冬の詩歌などを味わい、伝統的な言語文化に親しむ。</p>	

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
	7 自分を見つめて			
1月	少年の日の思い出 6時間 (読⑤書②) ◎場面展開や人物の描写に注意して作品を読み、登場人物の心情の移り変わりを捉える。(読(1)ウ・エ) ◎文脈の中における語句の意味を正確に捉えて作品を読み、登場人物のものの見方や考え方について、自分の考えをもつ。(読(1)オ)(伝国(1)イ(イ)(ウ)) ○主人公以外の人物の視点で作品を書き換え、互いに読んで感想や意見を交流する。(書(1)ウ・オ)	1 2 3-4 5 6 7	<p>「目標」や「学習の見通しをもとう」などから本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 情景や登場人物の気持ちを想像しながら、全文を通読する。 ・注意する語句・新出漢字を調べる。</p> <p>2 語り手の転換に注意しながら、全体を前半と後半の二つに分け構成を捉える。(学習1) →p216^密「語り手に着目して読む」</p> <p>3 「僕」と「エーミール」の関係を読み取り、最後の「僕」の行動の意味を考える。 ・「僕」から見た「エーミール」の人柄が描写されている部分を探して抜き出す。(学習2-1) ・「僕」の「エーミール」に対する気持ちが表現されている部分に着目して、「僕」の考えを捉える。(学習2-2) ・最後に収集したちょうを潰す「僕」の行動と心情を捉える。(学習2-3) ・作品に使われている「熱情」という言葉について考え、読み取りの手立てとする。 →p217^{言葉}</p> <p>4 作品をもう一度読み返し、「僕」のものの見方や考え方について、共感するところや疑問に思うところを話し合う。(学習3)</p> <p>5 学習を振り返る。 ・場面の展開に沿って、登場人物のどんな心情の変化を捉えたか。 ・人物の考え方や表現の特徴などについて、どう考えたか。</p> <p>6 作品の読み取りを深めるために、主人公以外の人物の視点で作品を書き換える。 →p217「別の人物の視点で書こう」 ・人物を決めて、書き換える場面を選び、400字程度で書く。 ・書き上げた文章を読み合い、感想や意見、作品や登場人物について話し合う。</p> <p>^漢p218「漢字を確認しよう」の問題に取り組む。</p>	<p>【関】 作品を読み、情景や登場人物の気持ちに関心を向けようとしている。</p> <p>【読】 場面展開や人物の描写に注意しながら読み、登場人物の心情の移り変わりを捉え、人物のものの見方や考え方について、自分なりに考えている。</p> <p>支 登場人物の心情の移り変わりを抜き出し、気持ちの変化を読み取らせる。</p> <p>【書】 別の人物を選び、その人物の気持ちや考えを物語の流れに沿って書き換えている。</p> <p>【言】 場面描写の言葉や登場人物の心情を表す言葉に着目して作品を読み進めている。</p>
	○文章に用いられている漢字を正しく読み、小学校で学習した漢字に書き慣れる。(伝国(1)ウ(ア)(イ))			【言】 問題に取り組み、漢字をおおむね正しく読み書きしている。
	言葉3 さまざまな表現方法 2時間 ◎言葉の並べ方の工夫や比喩(たとえ)について理解する。(伝国(1)イ(ウ))	1 2	<p>1 導入の例を読み、表現の違いによる印象の違いを挙げる。</p> <p>2 「言葉の並べ方の工夫」を読み、表現技法によるリズムの違いや効果について考える。 ・例文を基にそれぞれの技法の特徴を理解する。</p> <p>3 「比喩(たとえ)」を読み、それぞれの比喩による印象の違いや効果について考える。 ・例文を基に比喩の特徴を理解する。 ・p221「生活に生かす」を読み、日常生活の中でも、比喩を使うことで物事を効果的に伝えることができることを知る。</p>	<p>【関】 さまざまな表現の工夫について理解しようとしている。</p> <p>【言】 言葉の並べ方の工夫や比喩について、それぞれの表現上の特質などを理解している。</p> <p>支 身近な学校生活の話題を、言葉の並べ方の工夫や比喩で表現させ、その効果に気づかせる。</p>

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
1月	漢字 3 漢字の成り立ち 2時間 ◎漢字の成り立ちについて理解する。(伝国(1)ウ(ア)) ○小学校6年生で学習した漢字に書き慣れる。(伝国(1)ウ(イ))	1 2	1 漢字の成り立ちについて理解する。 ・「象形」「指事」「会意」「形声」を用例と共に確認する。 ・国字について知る。 2 漢和辞典を利用して練習問題を解き、漢字の成り立ちを調べ、分類する。 ◇p257～p260「漢字の練習」を適宜活用し、小学校6年生で学習した漢字の理解を深めさせる。	【関】 漢字の成り立ちに関心を持ち、漢字の理解を深めようとしている。 【言】 漢字の成り立ちについて理解し、練習問題の漢字を分類している。 支 わかりやすい漢字を一つ取り上げ、漢字の成り立ちについて説明し理解を図る。
2月	印象深く思いを伝えよう 新入生にメッセージを書く 4時間 ◎伝えたい自分の考えや気持ちを、相手や目的を考えながら書く。(書(1)ア・ウ) ◎文章を読み返し、わかりやすく、印象深いものになっているかを推敲する。(書(1)エ)	1 2 3 4 5	「目標」や「学習の見通しをもとう」 などから本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。 1 相手意識・目的意識をもってメッセージの題材を選ぶ。 2 メッセージの内容と構成を考える。 3 表現の工夫を考える。 →p72「言葉を集めよう」、p219「さまざまな表現技法」などの学習を喚起させる。 4 下書きし、推敲する。 5 清書をする。 6 メッセージを読み合い、感想を伝え合う。 7 学習を振り返る。 ・考えや気持ちを伝えるために、どんな工夫をしたか。 ・どのような点に注意して推敲したか。	【関】 自分の考えや気持ちを、相手の目的に合ったメッセージになるように書こうとしている。 【書】 文章を読み返し、わかりやすく、印象深いものになっているかを推敲する。 支 相手意識・目的意識をもたせるため、幾つか具体的な文章を例示する。 【言】 文章の構成や表現の工夫を考えて文章を書いている。
	文法への扉 3 単語の性質を見つけよう 2時間 ◎単語の分類について理解する。(伝国(1)イ(エ))	1 2-3	1 例題のカード並べを考え、単語の性質の違いに気づき、単語を分類していく観点があることを理解する。 2 p249文法3「単語の分類」を読み、自立語と付属語、活用の有無、品詞、体言と用言について理解する。 ・下段の練習問題に取り組み、理解したことを確認する。 ◇必要に応じて、p253～p256「活用表」(【参考】)を用いて理解を深めさせる。	【関】 単語の性質について関心を持ち、単語の分類を理解しようとしている。 【言】 自立語と付属語、活用の有無、品詞、体言と用言について整理し、理解している。 支 単語の種類がわかる代表的な言葉(品詞)を示し、理解させる。

月	教材名・時数・指導目標・言語活動	時	学習活動	評価規準
3月	<p>一年間の学びを振り返ろう</p> <p>5時間 (話聞④書②)</p> <p>◎伝えたいことを、効果的な図表を入れたポスターにしてまとめ、互いに読み合い、自分の表現に生かす。(書(1)ウ・オ)</p> <p>◎学んだことの中から題材を選び、材料を集めながら考えをまとめ、整理してポスターを作る。(書(1)ア・イ)(伝国(1)イ(ウ))</p> <p>◎発表内容について、話の構成を工夫して話したり、他のグループの発表を聞いたりする。(話聞(1)ア・イ・エ)(伝国(1)イ(ウ))</p> <p>★図表などを用いたポスターを書く。(書(2)イ)</p> <p>★ポスターセッションを行い、発表したり、発表を聞いて質問や助言をしたりする。(話聞(2)ア)</p>	1 2 3 4 5 6	<p>「目標」や「学習の見通しをもとう」などから本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 ポスターセッションの方法と進め方を知る。</p> <p>2 1年間の国語学習を振り返り、印象に残っているものを選ぶ。</p> <p>3 同じ題材を選んだ者どうしてグループを作って話し合い、文章を分析する。</p> <p>4 発表する内容を決め、材料を集める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループの中で、分担を決めて材料を収集したり、整理したりする。 <p>5 集めた材料を基に、ポスターにまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ポスターの例」を参考にする。 ・見る人の興味を引くようなキャッチコピーを考える。 ・調査結果の数値を表やグラフに表す。 →p288 図「資料の工夫」 ・見やすく魅力的な紙面構成にまとめる。 <p>6 発表の準備と練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表の流れを確認し、分担を決める。 ・わかりやすい発表になっているか検討する。 <p>7 ポスターセッションを行う。→CD</p> <p>8 発表を振り返り、互いに感想を伝え合う。</p> <p>9 学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表の内容について、どんなことに注意したか。 ・発表するとき、どんなことに注意したか。 	<p>【関】印象に残った題材をポスターにまとめて、協力して発表に取り組もうとしている。</p> <p>【話聞】話の構成を工夫し、聞き手の反応を踏まえながら発表している。</p> <p>支 発表メモや聞き取りメモを活用して練習させる。</p> <p>【書】1年間の国語学習の中から題材を選び、分析したことを整理してまとめている。</p> <p>支 主な登場人物や、説明文の具体的例示などを一覧にして示す。</p> <p>【言】聞き手が興味をもつような言葉や構成を考え、ポスター作りに取り組んでいる。</p>
	<p>ぼくがここに</p> <p>2時間</p> <p>◎文脈の中における語句の意味を捉え、表現の特徴について自分の考えをもつ。(読(1)ア・エ)</p> <p>★詩を朗読する。(読(2)ア)</p>	1 2	<p>「目標」や「学習の見通しをもとう」などから本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 作者の思いを想像しながら詩を音読する。</p> <p>2 詩の中で心に残ったこと言葉や表現を抜き出し、理由をまとめる。(学習1)</p> <p>3 表現されていることについてグループで交流し、互いの発表したことをメモする。</p> <p>4 表現などを意識して詩を朗読する。</p> <p>5 学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どのような言葉や表現に着目して、作者の思いを感じ取ったか。 	<p>【関】作品の表現の特徴を捉え、朗読に生かそうとしている。</p> <p>【読】作品の中の語句の意味や表現の特徴を捉え、自分の考えをもっている。</p> <p>支 交流時に聞き取りメモをとるように促す。</p> <p>【言】語句や表現の効果や特徴に着目している。</p>
		122		